

3. 自然災害からくらしを守る  
しぜんさいがい  
じしん

## 1 地震からくらしを守る①

教科書

76~81ページ

答え8ページ

次の( )に入る言葉を、下から選びましょう。

## 1 県内のあるさまざまな自然災害／地震が起きたら

教科書

76~79ページ

## ▶ さまざまな自然災害

- ・自然災害には、地震災害のほかに、大雨や強風による(①)害、  
ふん火による(②)災害、大雪による雪害などがある。

## ▶ 地震によるひがい

- ・静岡県では1974年に伊豆半島沖地震が起こった。
- ・地震では建物がたおれるだけでなく、火事によるひがいが起きたり、海に面したまちでは(③)のひがいが起きることもある。
- ・ひがいが大きくならないように、県や国から、(④)けいさつや消防が出動する。



## 2 地震とわたしたちのくらし

教科書

80~81ページ

## ▶ 地震によるくらしへのえいきょう

- ・家がこわれたために、学校の体育館などが(⑤)になる。
- ・道路が通れなくなると、助けが来るまでに時間がかかってしまう。

## ▶ 学習計画…地震からくらしを守るための取り組み

調べること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震が起きる前に家や学校、地団子で行っている(⑥)。</li> <li>・地震が起きた後の市役所や県、国の動きや(⑦)体せい。</li> <li>・住んでいる市、町、村の(⑧)と、 予想される(⑨)の広がり。</li> </ul>
調べ方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家や学校でインタビューをする。・市役所のたんとうの人に話を聞く。</li> <li>・地団子や市、県、国の(⑩)について、本やホームページで調べる。</li> </ul>

・「だれが」「どのような」取り組みをしているのかに注目して、カードにまとめる。

選んだ  
言葉に✓

- |                               |                              |                               |                              |                              |
|-------------------------------|------------------------------|-------------------------------|------------------------------|------------------------------|
| <input type="checkbox"/> ひなん所 | <input type="checkbox"/> 地形  | <input type="checkbox"/> じゅんび | <input type="checkbox"/> ひがい | <input type="checkbox"/> 火山  |
| <input type="checkbox"/> 津波   | <input type="checkbox"/> 対さく | <input type="checkbox"/> 協力   | <input type="checkbox"/> 風水  | <input type="checkbox"/> 自衛隊 |

# 練習



## ぴたトリビア

地震が多い日本では、ゆれに強い建物をつくる技術が発達しています。これは世界のなかでも進んだ技術です。

教科書

76~81ページ

答え8ページ



## 1 伊豆半島沖地震について、答えましょう。

(1) 伊豆半島沖地震で、大きなひがいが出た県はどこですか。

( )

(2) 伊豆半島沖地震のときの様子について説明したものとして、正しいものには○、まちがっているものには×をつけましょう。

①( ) 地震発生直後に自衛隊が出動し、活動を行った。

②( ) この地いきで起こった大きな地震は、伊豆半島沖地震が初めてである。

③( ) この地震による火災は起こらなかった。

④( ) 地震後には、多くの人たちがひなん所に集まった。

## 2 次の学習問題について、学習計画を立てるときのメモの①~③にあてはまる言葉を、Ⓐ～Ⓑから選びましょう。

**学習問題** 地震からくらしを守るために、だれが、どのようなことをしているのでしょうか。

### ●調べること

- ・地震が起きる前に家や学校、地いきではどのようなじゅんびをしているか。
- ・地震が起きた後の市役所や県、国の動きや協力体制。
- ・市の地形と、予想される(① )の広がりは、どのようなものか。

### ●調べ方

- ・家や学校で(② )をする。
- ・市役所のたんとうの人に学校に来てもらい、話を聞く。
- ・地いきや市、県、国の対さくについて、本やホームページなどで調べる。

### ●まとめ方

- ・調べたことを、「だれが」「(③ )」取り組みをしているかに注目し、カードにまとめてクラスで話し合う。

Ⓐ ひがい Ⓛ どのような Ⓜ インタビュー



① (2) 伊豆半島沖地震が起こった地いきでは、大きなひがいが出ました。

3. しぜんさいがい  
自然災害からくらしを守る  
じしん

## 1 地震からくらしを守る②

教科書

82~85ページ

答え8ページ

次の( )に入る言葉を、下から選びましょう。

## 1 家庭でそなえているもの

教科書

82~83ページ

## ▶家庭でのそなえ

- 家中で安全な場所を知っておく。
- きん急の食料や(①)など、ひなん生活に必要なものをそろえておく。
- (②)の転とう防止の対さくをする。



↑ 家でそなえているもの

## ▶家族での話し合いや約束

- 地震のときは(③)に乗らない。
- 電話がつながりにくくなったら、番号171に電話をかけて伝言を残し、災害用(④)でれんらくし合う。
- 近くの公園などの(⑤)に集まる。

## 2 学校や通学路でそなえているもの

教科書

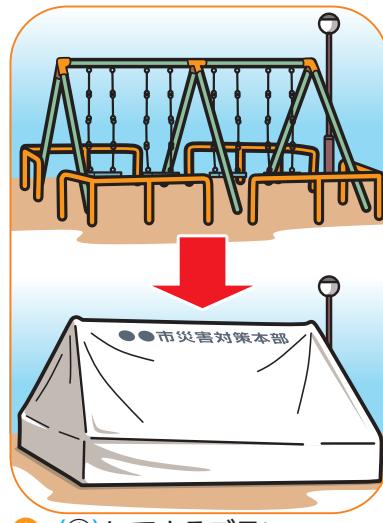
84~85ページ

## ▶校内や学校の周りでの地震対さく

- ひなん(⑥)を行う。
- 地震体験車で大きな震度の地震を体験する。
- たななどの転とう防止をしたり、きん急の食料をじゅんびしたりする。
- 国や県、地いきが管理する(⑦)には、地いき防災のそなえとして、毛布やトイレなどがあつかわれている。
- (⑤)に、(⑤)であることをしめす(⑧)を立てる。
- 公園にあるブランコは、ひなんしたときに(⑨)にすることができる。



↑ (8)



↑ (9)にできるブランコ

選んだ

言葉に✓訓練伝言ダイヤルエレベーター水ひなん場所防災倉庫家具テント

# 練習



## ぴたトリビア

大きな災害が起こった場合、ひがいにあつた地いきの人たちが安心してじょうほうを得られるよう、公衆無線LANが無料で開放されます。

教科書

82~85ページ

答え8ページ



## 1 次の問いに、答えましょう。

- (1) 地震にそなえた家庭での取り組みについて、次の文の①~④にあてはまる言葉を、Ⓐ~Ⓔから選びましょう。

地震にそなえて、日ごろから①などがたおれてこないように転とう防止の対さくをしたり、きん急の②や水などをじゅんびしておく必要がある。また、家族で話し合って、地震が起きたときの③の方法や集まる場所などの④を決めておくとよい。

①( ) ②( ) ③( ) ④( )

Ⓐ 食料 Ⓛ 約束 Ⓜ れんらく Ⓝ 家具

- (2) 大きな災害が起り電話がつながりにくくなったときは、何番に電話をかけて伝言を残しておくとよいですか。

( )

## 2 学校や地いきで地震のためにそなえている①~④についての説明をⒶ~Ⓔから選んで、線で結びましょう。

①



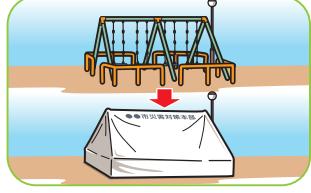
Ⓐ きん急の食料や水だね。家からひじょうしょくも非常食を持ち出せなかったときも安心だね。

②



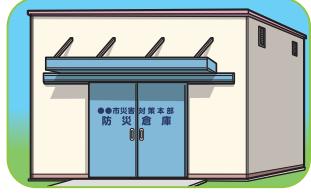
Ⓑ ふだんは遊びに使っているけど、地震が起きたらテントとして使うことができるんだね。

③



Ⓒ 地震が起きたときに、毛布やトイレなどがほかんされているよ。

④



Ⓓ 地震が起きたときにひなんする場所が、一目でわかるね。



② 学校や自分の住む地いきをイメージしながら考えてみましょう。

# たしかめのテスト



## 3. 自然災害からくらしを守る

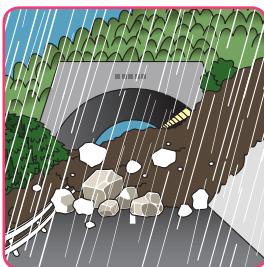
### 1 地震からくらしを守る



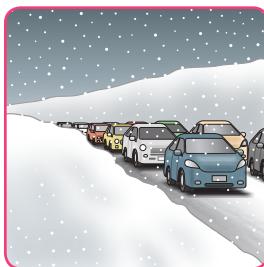
#### 1 自然災害とそのひがいについて、考えましょう。

1つ5点 (25点)

- (1) **よく出る** 次の絵は自然災害の様子です。絵にあてはまる説明をⒶ～④から選びましょう。



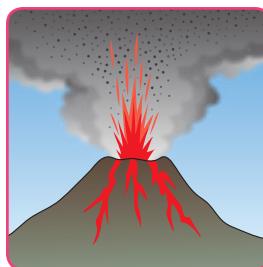
Ⓐ ( )



Ⓑ ( )



Ⓒ ( )



Ⓓ ( )

Ⓐ ふん火によってはいが空にふき出ている。

Ⓑ 大雨によって土砂がくずれている。

Ⓒ 道路に雪がふり積もり、交通じゅうたいが起こっている。

Ⓓ 地震によって、家などの建物がとうかいしている。

- (2) 地震が起こったとき、特に海に面しているまちが受けがあることは、何によるひがいでですか。   から選びましょう。 ( )

火事

津波

道路のひびわれ

1つ5点 (30点)

#### 2 地震からくらしを守る取り組みについて、クラスで調べたりまとめたりするときに行うこととして、正しいものには○、まちがっているものには×をつけましょう。

- Ⓐ ( ) 市役所や県、国の動きや協力体制についても調べるとよい。
- Ⓑ ( ) 地図の地形と、予想されるひがいの広がりはどのようなものかも調べるとよい。
- Ⓒ ( ) 市役所のたんとうの人に学校に来てもらい、話を聞くのもよい。
- Ⓓ ( ) 家や学校での取り組みについては、まとめる必要はない。
- Ⓔ ( ) 県、国の対策については、学校の先生だけに聞いてまとめる。
- Ⓕ ( ) 取り組みについて調べたことを、「だれが」「どのような」に注目してまとめる。

3

**よく出る** 災害のときの次の①～④のような場合にそなえて、じゅんびしておくとよいものをⒶ～Ⓔから選び、線で結びましょう。

1つ5点(20点)



①

調理ができなくなったり、**食料**を得るのがむずかしくなってしまうことがあります。



Ⓐ



②

電気が止まってしまうと、ひがいのじょうほうを知ることがむずかしくなります。

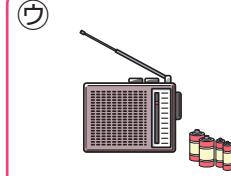


Ⓑ



③

外に出てひなん所へ行くとき、ガラスやブロックのはんが落ちてくることがあります。



Ⓒ



④

水道が止まって、水が使えなくなってしまうことがあります。



Ⓓ

4

学校や通学路でそなえているものについて、考えましょう。

1つ5点(25点)

(1) 次の文のうち正しいものには○を、まちがっているものには×をつけましょう。

- Ⓐ ( ) 公園にあるブランコには、テントとして活用することができるものもある。
- Ⓑ ( ) 学校のひなん訓練は、年に1回だけでなく、定期的に数回行われている。
- Ⓒ ( ) 学校では、食中毒などのきけんから守るため、きん急の食料はほかんされていない。
- Ⓓ ( ) 毛布やトイレなど、生活に必要なものがほかんされている**防災倉庫**は、すべて国が管理している。

(2) **記述** 学校で行われるひなん訓練では、放送があった後、どのような流れでひなんしますか。「かくにん」という言葉を使ってかん單に書きましょう。

思考・判断・表現

( )



### 3. しじんさいがい 自然災害からくらしを守る じしん

## 1 地震からくらしを守る③

教科書

86~91ページ

答え9ページ

次の( )に入る言葉を、下から選びましょう。

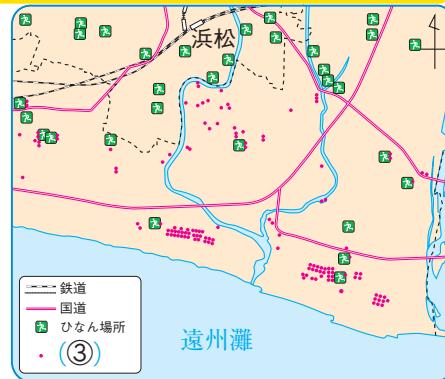
### 1 市の取り組み

#### ► 災害時の市の対応

- 市では、地震などの災害が起きたときの対応などを(①)に定めている。
- (①)には、災害のときに消防やけいさつとどのように協力するか、市民がどこにどう(②)するかなどが定められている。
- 海に面した浜松市では、地震の後の津波にそなえて、多くの建物が(③)に指定されている。
- 大きな地震の場合は、国や(④)，県とも連携して対応していく。



いろんな人が協力しているんだね。



① 海に近い地いきの(③)



① (③)のひょうしき

### 2 市と住民の協力／住民どうしの協力

教科書 88~91ページ

#### ► 地いきの人の協力

- 市と住民が協力して、(②)行動計画を立てたり、ひがいのおそれのある地いきやひなんに関するじょうほうがのったハザードマップという地図を使いながら(⑤)を行ったりしている。
- 地いきで災害にそなえてつくられている組織を(⑥)といい、浜松市では(⑦)とよばれている。

#### ► (⑦)の主な活動

- (⑧)はん…けが人の応急手当を行い、病院や救護所に運ぶ。
- 消火はん…初期消火をしたり、火災が起きていないか見回りをしたりする。
- ひなんゆうどうはん…地いきの人を、ひなん場所まですばやく安全に連れていく。
- 生活はん…たき出しを行ったり、食料品や飲料水、生活用品などを配ったりする。
- じょうほうはん…じょうほうをすばやく伝えたり、ほうこくしたりする。
- 救助はん…救出活動を行い、必要によって防災関係機関などへ出動をいらいする。

選んだ  
言葉に✓

自衛隊  
衛生

津波ひなんビル  
防災訓練

自主防災組織  
自主防災隊

防災計画  
ひなん

# 練習



## ぴたトリビア

まちの電柱などに、その土地の海ばつがしめされているところが多くあります。これは日ごろから津波へのけいかいを高めるために置かれています。

教科書

86~91ページ

答え9ページ

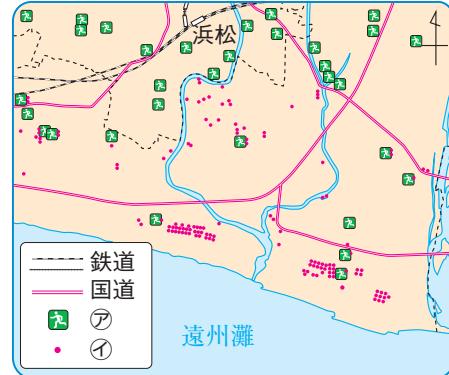
## 1 次の問いに、答えましょう。

(1) 右の地図は、海に近い地いきの、津波にそなえるための地図です。地図中のⒶとⒷはそれぞれ何の場所をしめしていますか。

Ⓐ( ) Ⓑ( )

(2) 右の図は、津波ひなんビルのひょうしきです。このひょうしきについて説明した文として、まちがっているものをⒶ～Ⓓから選びましょう。

- Ⓐ 津波ひなんビルの高さが書かれている。
- Ⓑ さまざまな国の言葉で書かれている。
- Ⓓ 海ばつ(地面の高さ)が書かれている。



## 2 浜松市の自主防災隊の①～④のはんが行うことを、Ⓐ～Ⓓから選び線で結びましょう。

① 救助はん



Ⓐたき出しを行ったり、生活用品を配ったりします。

② ひなんゆう  
どうはん



Ⓑ地いきの人をひなん場所まで連れて行きます。

③ 衛生はん



Ⓓ救助活動などを行います。

④ 生活はん



Ⓔけが人の応急手当をしたり、病院に運んだりします。



② はんの名前になっている言葉の意味を考えてみましょう。

3. 自然災害からくらしを守る  
しぜんさいがい  
じしん

## 1 地震からくらしを守る④

教科書

92~99ページ

答え9ページ

次の( )に入る言葉を、下から選びましょう。

## 1 地震からくらしを守る取り組みをまとめる／ひなん所シミュレーション 教科書 92~95ページ

## ▶ 助けの役わり

- ・ (1) …自分の身は自分で守る。  
→ひなんリュックを用意しておき、災害時には落ち着いて行動する。
- ・ (2) …学校や地いきで助け合って守る。  
→ひなん訓練を行ったり、防災倉庫のかくにん・点けんなどを行う。
- ・ (3) …市や県、国などによる助け。  
→防災ひなん計画やひなん行動計画の作成・周知を行う。
- ・ (4) …ほかの地いきとの助け合い。  
→ボランティア活動を推進したり、募金活動や助け合い活動を行う。

## 2 風水害からくらしを守る／火山災害からくらしを守る はつてん 教科書 96~99ページ

## ▶ 市の風水害対さく

- ・ 茨城県常総市では、防災危機管理課が風水害対さくに取り組んでおり、国と協力してていぼうを大きくするなどの工事を行っている。
- ・ 市では、防災じょうほうの受信機を家庭に置くほか、多言語に対応したスマートフォン・アプリも整びして(5)にも防災じょうほうがとどくようになっている。
- ・ 地いきの人たちも自分で(6)というひなん計画をつくるなどしてそなえている。

3日前	国	市	住民など
はんらん発生	こう水 予ほう	ひなん じゅんび	テレビの天気予ほうを注意。
	こう水 予ほう	ひなん かんごく	ハザードマップでひなん所をかくにん！ ひじょう持出ぶくろのじゅんび
			足りないものを貰い出し！
			川の水位をインターネットでかくにん。 おじいちゃんといっしょに早めのひなん開始！
			ひなん所にひなん完りょう

(6)

## ▶ 村や県のふん火対さく

- ・ 長野県王滝村では、御嶽山のふん火にそなえ、登山者や住民のために「(7)」を作成している。
- ・ 山では、山小屋をほ強して、(8)やかい中電とうなどをそなえている。
- ・ 御嶽山は長野県と岐阜県にまたがっているため、県や関係する市町村、消防やけいさつ、(9)の機関が協力して「御嶽山火山防災きょうぎ会」をつくり、けいかいひなん体せいの整びに取り組んでいる。

選んだ

 共助 互助 マイ・タイムライン 国 自助

言葉に☑

 公助 外国人 火山防災マップ ヘルメット

# 練習



## ぴたトリビア

日本には今もふん火が続いている火山が111あります。(2020年)

教科書

92~99ページ

答え9ページ



- 1** 地震からくらしを守る取り組みについて、次の表中の①～④にあてはまる役わりを、□の中から選択しましょう。

(①)	(②)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・落ち着いて行動する</li> <li>・つくえやテーブルの下にもぐる</li> <li>・ひなんリュックを用意する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア活動の推進</li> <li>・ボランティア活動の受け入れ</li> <li>・募金活動・助け合い活動</li> </ul>

(③)	(④)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご近所づきあいを大切にする</li> <li>・ひなん訓練を行う</li> <li>・防災倉庫のかくにん・点けん</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災ひなん計画の作成・周知</li> <li>・ひなん行動計画の作成・周知</li> <li>・①と③のしえん</li> </ul>

自助 共助 公助 互助

- 2** 災害からくらしを守る活動について、答えましょう。

(1) 茨城県常総市の風水害対さくを説明したものとして正しいものには○、まちがっているものには×をつけましょう。

- ①( ) 国と協力して、ていぼうを大きくしてくれにくくしている。  
 ②( ) 日本語だけにしか対応していないが、スマートフォン・アプリで防災じょうほうを得ることができる。  
 ③( ) 高齢者などの家に、防災じょうほうがとどく受信機を置くようにしている。  
 ④( ) 市のしょく員が住民それぞれのマイ・タイムラインをつくっている。

(2) 長野県王滝村のふん火対さくについて、次の問い合わせに答えましょう。

① 御嶽山のふん火にそなえて、登山者や住民のために何を作成しましたか。

( )

② 「御嶽山火山防災きょうぎ会」にはどのような人たちが参加しますか。Ⓐ～Ⓐから選びましょう。

- Ⓐ 長野県と岐阜県や、関係する市町村  
 Ⓛ 国の機関

- Ⓐ 消防やけいさつ  
 Ⓛ Ⓐ～Ⓐすべて ( )



- ① それぞれの考え方の立場になって、どのような人たちが助け合っているかを考えてみましょう。

# たしかめ のテスト

## 3. 自然災害からくらしを守る

### 1 地震からくらしを守る

100

ごうかく 80 点

教科書

86~99ページ

答え10ページ



#### 1 次の問に、答えましょう。

1つ5点 (30点)

- (1) 右の地図から読み取れるものには○、読み取れないものには×をつけましょう。

技能

- ① ( ) ひなん場所は、海のそばに多くある。
- ② ( ) 津波ひなんビルは、海側にはほとんどない。
- ③ ( ) 川のそばには津波ひなんビルはない。
- ④ ( ) 津波ひなんビルよりも、ひなん場所の方が多い。



↑ 海に近い地いきの津波ひなんビル

- (2) **よく出る**大きな災害時の市の取り組みについて説明した次の文のうち、ⒶとⒷにあてはまる言葉をそれぞれ選び、( )で囲みましょう。

市では、地震などの災害が起きたときの対応をⒶ { 防災計画 · 災害伝言ダイヤル } に定めている。大きな地震が起こった場合は、国や自衛隊、Ⓑ { 県 · 町内会 } とも連携して対応している。

#### 2 次の問に、答えましょう。

(1) 1つ7点, (2)11点 (25点)

- (1) 右の地図について、答えましょう。

- ① **よく出る**右の地図は、災害で起ころうひがいを予想して、ひがいのおそれがある地いきやひなんに関するじょうほうをのせたものです。この地図を何といいますか。 ( )

- ② 地図中のⒶは何を表した数字ですか。 ( )



- (2) **できたらスゴイ!** **記述** 災害でのきん急時に、どこにひなんしたらよいかこまっている人がいます。このとき、自主防災隊の「ひなんゆうどうはん」は、どのように対応しますか。かん單に書きましょう。

思考・判断・表現

( )

3

**よく出る** ①～④の役わりにあてはまる話を、Ⓐ～Ⓔから選び、線で結びましょう。

1つ5点 (20点)

①

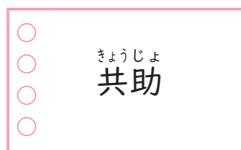


•



Ⓐ 市や県などが防災ひなん計画を  
作成して、みんなに知らせるよ。

②

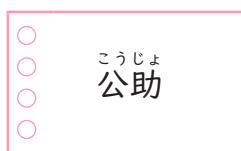


•



Ⓑ ボランティア活動や募金活動などで、ふだんから助け合うことも大切だね。

③

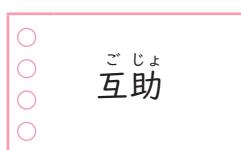


•



Ⓒ 地震が起きたら、まずつくえやテーブルの下にもぐるよ。

④



•



Ⓓ 災害にそなえて、町内会のひなん訓練に参加しているよ。

4

災害時の対さくについて、次の問い合わせに答えましょう。

1つ5点 (25点)

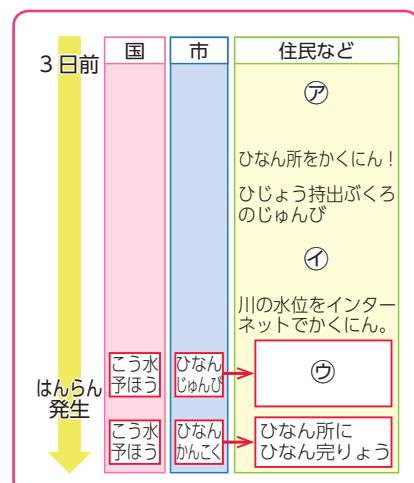
(1) 右の図は、Aさんのマイ・タイムラインです。次の①～③の行動はそれぞれ、図の中のⒶ～Ⓓのどこにあてはまりますか。

技能

- ①( ) 足りないものの買い出し
- ②( ) 早めのひなん開始
- ③( ) テレビの天気予報をかくにん

(2) マイ・タイムラインは、きほん的にだれが作成するものですか。

( )



(3) **記述** 長野県の御嶽山では、山小屋を強化し、中にはヘルメットやかい中電とうなどをそなえています。また、登山者は登山計画書を提出しなければなりません。このような決まりになっている目的を簡単に書きましょう。

思考・判断・表現

( )

### 3 自然災害からくらしを守る

#### ぴったり 1 じゅんび

34ページ

- 1 ①風水 ②火山 ③津波 ④自衛隊  
2 ⑤ひなん所 ⑥じゅんび ⑦協力 ⑧地形 ⑨ひがい ⑩対さく

#### ぴったり 2 練習

35ページ

てびき

- 1 (1) 静岡県  
(2) ①〇  
(2) ×  
(3) ×  
(4) ○  
2 (1) ①ア  
(2) ウ  
(3) イ

- 1 (1) 伊豆半島は静岡県にある半島です。  
(2) ②静岡県の近くでは、伊豆半島沖地震の以前にも、  
1854年の安政東海地震、1930年の北伊豆地震、1944年の東南海地震といった大きな地震が発生しています。  
2 ①市の地形を知るだけでなく、どのようにひがいが広がると予想されているのかなどを調べておきましょう。  
③だれが、どのような対応をするのか、それぞれの役わりを知っておくことも大切です。

#### ぴったり 1 じゅんび

36ページ

- 1 ①水 ②家具 ③エレベーター ④伝言ダイヤル ⑤ひなん場所  
2 ⑥訓練 ⑦防災倉庫 ⑧ひょうしき ⑨テント

#### ぴったり 2 練習

37ページ

てびき

- 1 (1) ①工  
②ア  
③ウ  
④イ  
(2) 171 (番)  
2 ①—工  
②—ア  
③—イ  
④—ウ

- 1 (1) ①②地震のときは、家具などがたおれてくるきけんや、水や食料が不足することも予想されます。  
(2) もしものときは、災害用伝言ダイヤルを使ってれんらくし合うことを約束しておくとよいです。  
2 ①ひょうしきを見て、自分はどこにひなんしたらよいのか、かくにんしましょう。②長期間のほぞんができる食料をほかんします。③公園のブランコは、災害時などにテントとして利用できるものもあります。④防災倉庫には、生活に必要な毛布などがほかんされています。

#### ぴったり 3 たしかめのテスト

38~39ページ

てびき

- 1 (1) ①イ ②ウ  
③工 ④ア  
(2) 津波  
2 ①〇 ②〇  
③〇 ④×  
⑤× ⑥〇

- 1 (1) ①台風や大雨などによるひがいです。川の水がまちにあふれることもあります。②雪が積もると交通に大きなえいきょうがでます。③地震では、地面にひびが入ったりすることもあります。④ふん火で大量のはいがふき出し、広いはん囲にはいがふってしまいます。  
2 ④家や学校での取り組みを調べることも重要です。  
⑤県や国のホームページなどでかくにんしましょう。

- ③ ①—② ②—④  
 ③—④ ④—①  
**④** (1) ①○ ②○  
 ③× ④×

(2) (例) 身を守り、安全をかくに  
 んした後、決められた場所にひ  
 なんする。

- ③** ②電気が止まると、じょうほうが得られなくなります。  
 けいたいラジオや、電池を用意しておきましょう。④水  
 道が止まると、飲み水だけでなく、トイレやおふろなど、  
 あらゆるものが使用できなくなります。  
**④** (1) ③きん急の食料は、じょくちゅうどく 食中毒などのきけんが少なく、  
 長くほかんできるもので、学校でもほかんされています。④国や県、地いきが管理しています。



ここでは、過去にどのような地震が起きた、どのような被害が起きたのかを学びます。  
 そしてわたしたちにどのようなそなえができるかを考えていきます。ご家庭でも、お子さんといっしょに家庭のそ  
 なえについて話し合ってみてください。

## ぴったり +1 じゅんび

40ページ

- 1** ①防災計画 ②ひなん ③津波ひなんビル ④自衛隊  
**2** ⑤防災訓練 ⑥自主防災組織 ⑦自主防災隊 ⑧衛生

## ぴったり +2 練習

41ページ

- 1** (1) ②ひなん場所  
つなみ  
 ①津波ひなんビル  
 (2) ②  
**2** (1) ①—②  
 ②—①  
 ③—④  
 ④—③

- 1** (1) 津波ひなんビルの方が、海の近くに多くあります。  
 (2) 「2.4m」という数字はこの地点の地面の高さをしめ  
 しています。  
**2** ①救出活動を行い、必要がある場合は防災関係機関な  
 どへ出動をいらいします。②ひなん場所まですばやく、  
 安全に連れていきます。③けが人を病院や救護所に運び  
 ます。④たき出しを行ったり、しゃくりょう 食料品や飲料水、いんりょう 生活用  
 品を配ったりします。

てびき

## ぴったり +1 じゅんび

42ページ

- 1** ①自助 ②共助 ③公助 ④互助  
**2** ⑤外国人 ⑥マイ・タイムライン ⑦火山防災マップ ⑧ヘルメット ⑨国

## ぴったり +2 練習

43ページ

- 1** ① 自助  
 ② 互助  
 ③ 共助  
 ④ 公助  
**2** (1) ①○ ②×  
 ③○ ④×  
 (2) ①火山防災マップ  
 ②③

- 1** ①自分の身は自分で守るという役わりです。②ほかの  
 地いきとの助け合いです。③学校や地いきで助け合って  
 守るという役わりです。④市や県、国などによる助けです。  
**2** (1) ②日本語だけでなく、さまざまな国の言語にたいおう 対応し  
 ています。④国や市が出すじょうほうをもとに住民が  
 自分たちでつくるものです。  
 (2) ②県や市町村、消防やけいさつ、国機関といった  
 多くの人たちが参加します。

てびき

① (1) ①× ②× ③× ④×

(2) ⑦防災計画 ⑦県

② (1) ①ハザードマップ

②海ばつ

(2) (例) ひなん所まですばやく,  
安全に連れていく。

③ ①—④ ②—①

③—⑦ ④—①

④ (1) ①⑦ ②④ ③⑦

(2) 自分(本人)

(3) (例) ふん火の災害から登山者  
を守るため。

① (1) ①ひなん場所には、津波がとどきにくく、高いところが指定されるので、海側には少ないです。②津波ひなんビルは、海の近くにいてにげられない人が、高いところにひなんできるよう、海側にある高い建物などが指定されます。

② (1) ②いろいろな場所の海ばつがしめされると、地形や、どこにひなんしたらよいかなどを考えることができます。

③ 43ページのぴったり2の①の解説をふり返りましょう。

④ (1) まず天気予ほうなどで災害が起こりそうかどうかをかくにんし、その後にひなんに必要なものをじゅんびします。じゅんびができたら、早いうちにひなんしましょう。

### おうちのかたへ

ここでは、実際に災害が起った場合にどのような行動をとるべきか、また誰がどのように連携して対応するのかを学びます。自分にできること、人と協力してできること、また、市や県、国が行うことなどを学んでいきます。